

施設名

所在地	福井市寮町 5 0 - 5
所管課等	建設部 公園課

1 指定管理者の概要

名称	公益財団法人 福井市ふれあい公社	代表者	小寺 正樹
所在地	福井市日之出 4 丁目 3 - 1 2		

2 指定管理期間

令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日 （第 4 期目）

3 施設の利用等の状況

	(H17 年度) 導入前年度	第 1 期目	第 2 期目	第 3 期目	第 4 期目				
		H18～22 年 (平均)	H23～27 年 (平均)	H28～R2 年 (平均)	R3 年度 (16 年目)	R4 年度 (17 年目)	R5 年度 (18 年目)	R6 年度 (19 年目)	R7 年度 (20 年目)
利用者数 (人)	82,796	121,587	137,394	125,234	101,920	104,069	115,791		
前年度比 (人)					30,174	2,149	11,722		
前年度比 (%)					42.1	2.1	11.3		
利用料金 (千円)		49,657	56,894	52,364	46,512	49,050	54,963		
前年度比 (千円)					15,070	2,538	5,912		
前年度比 (±%)					48	5	12.1		

4 納付金・指定管理料の状況

	R3 年度 導入 16 年目	R4 年度 導入 17 年目	R5 年度 導入 18 年目	R6 年度 導入 19 年目	R7 年度 導入 20 年目
指定管理料	154,428 千円	154,428 千円	154,428 千円		

5 要求基準と達成状況（進捗状況）

要求基準	達成状況
利用者数 140,000 人	令和 5 年度 年間利用者数 115,791 人 (達成率 82.7%)
健康づくりの情報を市民に周知し、意識啓発する事業を行う。	- 健康づくり促進事業、生きがいくくり促進事業の実施。 計 53 講座 1,785 回 33,817 人 - 指定運動療法事業の実施 利用者数 14 人 延べ利用回数 539 回 - ホームページ、QR コードの利用、館内での掲示及び公共施設等へのチラシ設置等による情報発信。

6 利用者から寄せられた苦情・意見等及びその対応状況

(施設・設備に関すること)

内容：女子クアハウス内で転倒したので、マットを敷設してもらったが、一時的なものではなく、恒久的に敷設してほしい。

対応：マットの敷設を継続する旨を申立者に伝えた。次年度以降、タイルの計画的な張替えを検討している。また、他にも同様の事案が発生したので、当面の対策としてタイルの滑りを抑制する特殊洗剤による清掃や、マットの枚数を増やすことにより、転倒防止に努めた。

内容：男子洗体シャワーの水量が少ないのではないかな。

対応：公園課職員と洗体シャワーの水量について確認したが、異常はなかった。お風呂場等でお湯の使用が重なると、一時的に水量が下がることも考えられるので、今後確認を行っていく。

内容：ハートフルパーキングに健常者が駐車しているため、注意してほしい。

対応：ハートフルパーキングは、小さいお子様を連れている方等が優先的に利用できる駐車スペースであり、台数に限りがあることを説明した。また、ハートフルパーキングの利用について、掲示を増やし、利用者に周知した。

7 利用促進等に向けた取組みの実施状況

計 画	実施状況
情報発信	・講座案内や運動療法のポスター、チラシ等にQRコードを掲載し、検索性を高めた。 ・チラシ等を近隣施設や道の駅等5か所に設置したほか、ホームページ、広報ふくい、フリーペーパー（ファミリー）等で情報発信に努めた。
講座内容の充実	・利用者の関心の高い各種講座のほか、短時間の講座も組み入れ、運動の楽しさを体験できるように充実を図った。 ・地元地区からの要望を受け、自治会型デイホームや地区行事へ職員の派遣を行い、体操指導を行った。
利用促進	・健康相談、各種講座、イベント、出張体操指導（デイホームなど）で運動療法の周知を行った。 ・運動療法継続者には定期的にカウンセリングを実施するとともに、運動プログラムの最適化を行い、運動意欲を向上することで症状の改善を促進した。 ・体組成計（インボディ）による数値測定診断等を行い、測定結果をもとに具体的な運動や生活習慣の相談を受け、規模者には運動プログラムを作成し、運動定着につなげた。 ・館内掲示板に生活習慣病予防のための運動や食生活に関する情報を掲示し、健康意識の高揚を図った。 ・受講しやすいレッスン（ショートレッスンや100円レッスン）を午前中に充実させ、利用者へのサービス向上に努めた。 ・プール更衣室やクアハウスで生じる床の水濡れが軽減するよう、点検や清掃を頻繁に行い、安全で衛生的な環境を提供できた。 ・施設利用者対象に施設全般についてのアンケート調査を実施し、利用者ニーズを的確に把握することに努めた。
地域のスポーツ推進・人材育成支援	・50mプールを学生や障がい者団体の練習の場として、提供した。

8 施設、設備の維持管理の状況

項目	実施状況及び確認方法
保守点検、運転、監視業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
清掃業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
保安警備業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
備品管理	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
小規模修繕	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）

9 指定管理者のコメント

当館では、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に引き下げられたことに伴い、感染症対策を見直し、非接触型体温計の設置や手指消毒用アルコールの設置等は引き続き実施するものの、各種講座定員の制限やトレーニング機器の利用台数の制限の撤廃等を行い、利用者のニーズに応えた施設運営を行った。

その結果、今年度の利用人数は115,791人で、新型コロナ感染症の影響のない元年度利用者数129,203人に対しては、13,412人（10.4%）の減少であるが、4年度利用者数104,069人に対し、11,722人（11.3%）の増加となった。

要求基準である140,000人に対する達成率は、4年度は74.3%であるのに対し、8.4%増加し82.7%となり、着実に増加している。

利用者の内訳をみると、4年度は、大人44.1%、小人4.7%、高齢者43.1%の割合であるのに対して、5年度は、大人43.0%、小人4.7%、高齢者44.3%となっており、昨年に引き続き高齢者の割合が増え、更に大人の割合を超えることとなった。

その高齢者の利用人数の推移をみると、元年度は45,339人（35.2%）であるのに対し、4年度は44,857人、5年度は51,347人でありコロナ渦以前より多くの方が利用されている。アンケートの回答者数の割合を見ても圧倒的に高齢者が占める割合が多くなっている。

一方、大人の利用人数をみると、元年度は64,339人（49.8%）であるのに対し、4年度は45,878人、5年度は49,750人となっており増加傾向にあるもののコロナ渦以前には戻っていない。特に20、30代の方の利用が回復しておらず、中でも、同年代の女性の利用が減少している。その要因の一つとして、24時間営業の類似施設及び個人指導を行うパーソナルフィットネス施設の増加の影響と考えられる。

自主事業については利用者へのアンケートをもとに要望の多い体幹系、有酸素運動及びコンディショニング改善系のレッスンや講座を増設したこともあり、講座受講についても順調に申し込みがされた。

また、計画していた他に職員実施のレッスンを追加して開催し、利用者増に努めた。

令和3年7月から開始した運動療法も継続的な利用があり、利用者に浸透してきたものと思われる。運動療法終了者の中には運動習慣が身に付いたことから、引き続き定期的な利用につながった。

ウォータースライダーについては、小中学校の夏季休業期間に36日間の運行を行い、昨年度の6,250人に対し1,647人増（25%増）、8,167人の利用があった。

地域との連携では、岡保地区デイホーム事業、岡保長寿まつり及び岡保老人クラブ連合会健康講座へ職員（健康運動指導士）を派遣し、健康指導、体操指導を行ったことに加えて、岡保地区の東山観光協会による写真展をラウンジにおいて開催し、地域の福祉や文化事業に協力した。

施設・整備の管理については、職員による総合自主点検により異常や破損の早期発見に努めるとともに、職員間の情報共有による経過観察の強化に取り組み、安全・安心を第一に管理運営した。

夏季期間の記録的猛暑による熱中症を予防するため、ミストシャワーの設置、熱中症指数計を設置し、熱中症発症リスクの把握、水分補給や休憩を取る旨の啓発を館内放送で行う等の対策を実施した。

また、プール水温の上昇に対しては、緊急措置としてろ過機を逆洗浄し、水道水の補給を行うことにより上昇を抑え、水温維持に努めた。

新年度は、これまでの運営実績に加え、当館の設置目的である「健康に対する関心を高め、健康の維持及び増進に寄与するとともに、福祉の増進を図る」ことを再認識し、事業の見直しを行いながら、施設運営を行っていく。

10 所管所属の所見

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたこともあり、各種講座定員の制限やトレーニング機器の利用台数の制限の見直しを行い、利用者のニーズに応えた結果、コロナ渦以前とまではいえないが、利用者数の増加があったことは評価できるものとする。

利用者アンケート等からサービスに係る課題を抽出し、クアハウス内のスピーカー修繕や、要望のあった講座内容の拡充や、更衣室に布製マットを増やすなどして、利用者の声を即座に反映させる努力がうかがえる。

また、アンケートの満足度の結果を見ても、職員の指導方法や丁寧な対応、講座の充実していることについて、利用者から高く評価をされていることから、日頃から丁寧な対応を心掛けていることが伺える。

運動療法については、2年以上実施してきたこともあり、利用者に浸透していることが確認される。さらなるPRと利用促進が望まれる。

また、施設のPR方法としてSNSを利用した情報発信が弱いように感じるため、既存の紙媒体の発信にとどまらず、SNSでの積極的な情報発信に努めていただきたい。

11 指定管理者、施設所管所属の評価

評価項目	視点	評価		方法	採点理由
		指定管理者	所管所属		
(1) 管理運営 (ア) 維持管理業務	保守管理 ・清掃、法令点検の確実な実施	5	5	・点検名、実施回数等のリストの確認 ・関係書類の確認等	6月24日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	保安業務 ・保安警備の実施状況	5	5	・機械警備についての確認 ・職員による巡回警備の確認等	6月24日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	備品管理 ・適正な備品管理、台帳の整理 ・市の備品と指定管理者の備品の区分け	4	4	・現地調査で台帳と照合等	6月24日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	(イ) 運営業務 利用時間や休館日の設定状況 ・条例に基づいた営業内容か 受付・承認・利用料金の收受と管理 ・一連の事務の適正な実施	5	5	・業務日報等の確認等 ・関係書類や現地調査により確認等	6月24日確認 (提出書類・施設据付帳簿) 6月24日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(ウ) 報告業務	事業報告書や収支計画書等の提出状況 ・適正な時期、内容での提出	5	5	・関係書類の確認等	6月24日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(2) サービスの内容 (ア) 利用促進の取組	PR活動の推進 ・市政広報やマスメディアの活用 ・ターゲットを絞ったPR	4	3	・関係書類の確認等	積極的に情報発信に努めている。
	他施設や地域との連携 ・地域住民との交流 ・地域性を活かしたイベントの開催	4	4	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	地区のデイホームや行事等に職員を派遣し、講座を実施している。
	(イ) サービス向上の取組み 利用者アンケートの活用 ・アンケートの積極的な実施 ・利用者の声の施設運営への反映	4	4	・関係書類の確認等	満足度調査と分析を行っている。
	自主事業の実施状況 ・自主事業の積極的な実施 ・新規プログラムの開拓	5	5	・事業報告書の確認等	
(ウ) 要求基準の達成状況	あらかじめ設定した数値目標の達成度 ・利用者の増減等	3	3	・事業報告書の確認等	目標には達しなかったが、前年度と比べて利用者が増加している。
(エ) 応募時の提案事項の実施状況	提案事項の実施状況 ・提案事項の確実な実施	5	5	・事業報告書の確認等	提案事項を計画立てて、実施している。
(3) 安定性 (ア) 管理運営体制	職員の配置状況 ・正職員とアルバイトの配置バランス ・有資格者の配置バランス ・有資格者の適切な配置	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	職員を適切に配置している。
	労働関係法令の遵守 ・適正な労働条件、環境 ・休日の適正な付与	4	4	・関係書類の確認等 ・業務日報等の確認等	労働関係法令を遵守している。
	職員の資質向上の取組み ・定期的な研修の実施	4	4	・関係書類の確認等	職員の資質向上の研修を定期的実施している。
	(イ) 法令等の遵守 個人情報の管理状況 ・法令等に沿った管理運営 ・個人情報に関する研修の実施 ・マニュアルの有無	4	4	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	個人情報保護に関するマニュアルを備えている。
(ウ) 安全・衛生対策	・安全・衛生面への配慮 ・事故防止対策の有無 ・AEDの適正な管理 ・食中毒防止のための対策	5	5	・現地調査で施設の確認 ・職員へのヒアリング等	事故の予防やAEDの適切な管理に取り組んでいる。
(エ) 危機管理 対策・緊急時対策	・緊急時(災害等)の対応ができる体制の整備 ・マニュアルの有無	5	5	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	危機管理マニュアルや連絡体制を整備している。
(4) 収支状況 (ア) 経理処理状況	・一つの口座での会計 ・適正な内部監査体制	4	4	・会計帳簿と金融機関口座の照合 ・監査結果の確認等	6月24日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	(イ) 経費削減の取組状況 ・光熱水費の削減 ・再委託費の適正な水準	5	5	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	
合計		88	87		
割合(合計/100点満点)		88%	87%		

★※評価で3点以外の評価をする場合((1)管理運営含む)は、採点理由に理由・根拠を必ず記入すること。

【参考】全期モニタリング採点基準表(指定管理者及び所管所属)

業務の結果	点数	備考
未実施や実施の遅延がある	1～2点	未実施や遅延の程度に応じて採点理由を採点理由欄に記載すること
標準(協定等に規定されていることを最低限満たしている。)	3点	
事業の実施により、よりすぐれた効果が現れている	4～5点	効果の程度に応じて採点理由を採点理由欄に記載すること

*福井市指定管理者事務処理マニュアル抜